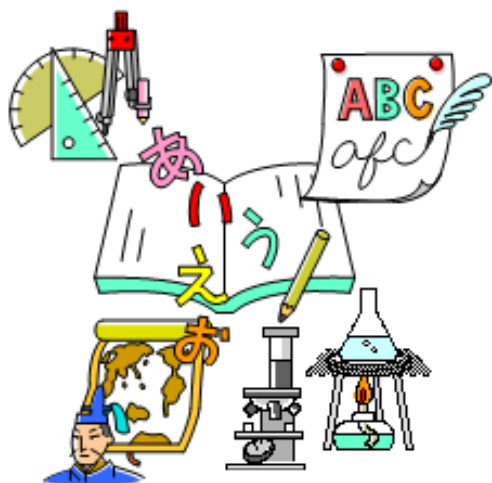


令和6年度
鈴鹿市立天栄中学校

2年生

シラバス



2年	組	席	名前
----	---	---	----

教科名	学年	週時間数
国語	2	4

シラバス 2023

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	現代の国語2 (三省堂) 中学書写 一・二・三年 (光村図書)
副教材	学習漢字ノート2 (浜島書店) 国語スイッチ2 (正進社) 学習の達成国語2年(新学社) すらすら基本文法 (浜島書店) 名文視写スキル(光村教育図書) 新・国語の便覧 (正進社)

指導の重点	言葉による見方・考え方 表現力 知識技能
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組み、国語を意欲的に学ぶことができる。 ・自分の見方や考え方を深め、表現の仕方に注意して話し、聞き、書くことができる。 ・様々な文章を読み、目的や意図に応じて読み取る能力を育てる。 ・国語の基礎的な事項や知識を身につける。 ・書く力をつける。 ・人の話を聞き、的確に受け答えできる力をつける。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	言語について正しい知識を持ち、適切に使うことができる。 漢字練習や意味調べを通して語彙を増やすことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・小テスト ・定期テスト
観点② 思考・判断・表現	みんなに聞こえる声で正確に読むことができる。自分の考えや気持ちを発表することができる。友だちの意見を的確に聞きとることができる。 丁寧で、読みやすい文章を書くことができる。意図や趣旨、自分の気持ち等をまとめて書くことができる。 文章の要旨をとらえ、自分の意見を持つことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・朗読 ・話し合いや発表での話し方、聞き方 ・話す・聞くテスト ・定期テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	授業の約束事を守り、宿題・ノート整理等ができる。思ったことや感じたことを発表できる。 自らの学習を振り返り、今後の学習に生かすことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ノート ・振り返りシート ・小テスト

授業の受け方	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち物や宿題を忘れないようにする。 ・提出物の期限を守る。 ・人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の考えは挙手してはっきりと言えるようにする。 ・後で見た時に分かりやすいノートを作る。 ・自らの学習を振り返り、今後の学習に生かす。
--------	--

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	・名づけられた葉 ・セミロングホームルーム ・ことば発見1 敬語の意味と種類	・詩を音読する。 ・登場人物の言動の意味や役割を考えながら読む。 ・「丁寧語」「尊敬語」「謙譲語」の違いを理解する。	・詩のリズムを感じて音読し、表現の効果を考える。 ・登場人物の設定の仕方を捉え、表現や構成の工夫について考える。また、作品についての自分の考えを共有する。 ・敬語のはたらきについて理解する。
	5	・グループディスカッション ・漢字を身につけよう1 ・しゃんけんはなぜグー・チョキ・パーの三種類なのか	・グループディスカッションにより話し合いを深め、相手の考えと比較しながら聞き自分の考えをまとめる。 ・新しく学習する漢字の読みを学ぶ。 ・本文の構成や論理の展開の仕方を捉える。	・互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解し、活用する。 ・常用漢字の読み・書きについて理解を深める。 ・文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。
	6	・人間は他の星に住むことができるのか ・手紙・メール ・ことば発見2 言葉のはたらきをコミュニケーション ・漢字を身につけよう2	・文章の構成や論理の展開、その効果について考える。 ・伝えたい事柄や気持ちを明確にし、手紙を推敲する。 ・相手に何かをはたらきかけるときの表現の仕方や配慮の示し方について考える。 ・新しく学習する読みを学ぶ。	・主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。 ・伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式をふまえて書く。 ・言葉には相手の行動を促すはたらきがあることに気づく。 ・常用漢字の読み・書きについて、理解を深める。
	7	・短歌・俳句 ・表現の仕方を工夫して豊かに表す ・文法のまど1 用言の活用 ・私の読書体験 生涯の友と出会う	・短歌と俳句の世界を読み味わう。 ・情景や感動が伝わるように表現を工夫して短歌と俳句を推敲する。 ・用言の活用を理解する。 ・テーマとした本を選んで魅力を紹介する。	・短歌のリズムや表現の特徴を理解する。 ・情景や感動が伝わるように、表現を工夫して書く。 ・用言の活用の種類を分類する。 ・読書に興味を持ち、自分の考えを広げたり深める。
	9	・壁に残された伝言 ・一〇〇年後の水を守る ・言葉発見③ 上位語・下位語 ・プレゼンテーション ・漢字を身につけよう	・事実と筆者の思いを捉えながら読む。また、自分の考えを持つ。 ・上位語・下位語の関係について理解を深める。 ・中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	・筆者のものの見方や考え方を捉えて読む。 ・自分の立場や考えとともに、それを支える事実や事柄を明らかにして、文章を書き発表する。 ・中学校で新しく学習する読みを理解する。
	10	・枕草子・徒然草 ・表現プラザ 私の「枕草子」「徒然草」 ・平家物語 ・漢詩の世界 ・熟語の構成・熟字訓 ・漢字を身につけよう	・古文の特徴に気をつけて音読し、古人の心情を読みとる。 ・古文の現代語訳を工夫して書く。 ・登場人物の考え方について、自分の考えを持つ。 ・漢詩の特徴に気をつけて音読し、情景や心情を捉える。 ・中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	・古文を読んで、古人の心情を読みとることができる。 ・歴史的仮名遣いや古典のリズムを捉えて、古典の文章を音読できる。 ・漢詩の形式を理解する。 ・中学校で新しく学習する読みを理解する。
	11	・複数の情報を関連づけて考えをまとめる ・投稿文 ・文法の窓2 助詞・助動詞 ・漢字を身につけよう	・意見と根拠などの関係に注意して、互いの立場を尊重しながら話し合い、考えをまとめる。 ・構成を考えて投稿文を書く。 ・自分の意見と根拠を明確にして、説得力のある文章を書く。 ・助詞・助動詞、文の成分の順序や照応、文の種類を理解する。 ・中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解する。 ・立場や考えを尊重しながら話し合い、考えをまとめる。 ・他者の意見を聞き、対する意見を伝えられる。 ・助詞・助動詞を分類できる。 ・中学校で新しく学習する読みを理解する。
2	12	・大阿蘇 ・類義語・対義語、多義語 ・小さな手袋 ・ヒプリオバトル ・創作文 ・漢字を身につけよう	・詩の表現技法を理解しながら、情景を捉えて詩を読む。 ・類義語・対義語、多義語について学ぶ。 ・主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。 ・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。 ・作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開など工夫して書く。 ・中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	・詩の表現技法を読みとることができる。 ・類義語・対義語、多義語について理解する。 ・登場人物の人物像を捉え、心情について考える。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ・作品の特徴や魅力が伝わるように創作する。 ・中学校で新しく学習する読みを理解する。
	1	・動物園でできること ・熟語の読み ・論説文 ・漢字を身につけよう	・文章の全体と部分との関係や、主張と例示との関係に注意して、筆者の主張を捉える。 ・熟語の読みについて理解を深める。 ・伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫して書く。 ・中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	・動物園に関する筆者の主張について、知識や経験と結びつけて自分の考えを深める。 ・熟語の読みを音と訓の組み合わせのパターンから分類的に理解する。 ・根拠の適切さや表現の効果を捉えて説得力のある文章を書く。 ・中学校で新しく学習する読みを理解する。
	2	・走れメロス ・漢字を身につけよう	・作品の構成や、登場人物の言動に気をつけて物語を読む。 ・中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	・登場人物の言動の意味を捉えることができる。 ・中学校で新しく学習する読みを理解する。
3	1	・ふるさつを見つめ直す 地域情報誌	・ふるさつの良さや新しい発見を伝える情報誌を作る。	・集めた情報を検討し、文章にまとめることができる。

教科名	学年	週時間数
社会	2	3

シラバス 2024

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	『中学生の地理』（帝国書院） 『中学校社会科地図』（帝国書院） 『新しい社会 歴史』（東京書籍）
副教材	『社会の自主学習 地理2』（新学社） 『地理資料集 世界・日本』（新学社） 『社会の自主学習 歴史2・3』（新学社） 『学び考える歴史』（浜島書店） 『学習の達成 地理2』（新学社） 『学習の達成 歴史2』（新学社）

指導の重点	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
教科のねらい	多面的・多角的な見方や考え方ができることを目標に、生徒の「学ぶ意欲」「思考力」を高めることを目指す。また、基礎的な知識を身につけることを通して自国の歴史・文化・国土・制度を理解し、他国の文化が尊重ができる国際人としての自覚を高める。 【表現力の指導】 自分の考えをまとめ、他者にわかりやすく発表する。小グループでの話し合いを通して、自分の考えをさらに深める。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	社会的な事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を正しく身につける。また、各種資料を読み取り、効果的に活用できる技能を身につける。	授業中の発表内容 ノート・ワークシート・レポート の資料活用の内容 テスト
観点② 思考・判断・表現	社会的な事象から課題を見つけ、相互の関連をいろいろな角度から考え公正に判断する。それらをまとめ文章で表現したり発表したりできる。【表現力】	授業中の発表内容 ワークシートやノートの考察 レポートのまとめ方 テスト
観点③ 主体的に学習に 取り組む態度	学習内容への関心を持ち、授業や家庭学習において主体的に学習に取り組もうとする。	準備物 発表 ノートまとめ ワークシート・レポート等の提出物 授業態度 テスト

授業の受け方	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして着席しておこう。 ・黒板に書いたことや自分で気づいたことをノートに工夫してまとめよう。 ・わかったことや自分の考えを積極的に発表しよう。 ・ノート・ワーク等の課題に取り組み、提出期限を守ろう。 ・「つながり」を考えることが大切。つながりを考えるうえで土台となるのは「知識」ですが、「なぜ」（理由）を追求することを目指そう。
--------	--

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	〔地理〕 第3部 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域	①九州地方 ②中国・四国地方	・それぞれの都道府県の自然・文化・経済についてまとめることができる。
	5		③近畿地方 ④中部地方	・それぞれの都道府県の自然・文化・経済についてまとめることができる。
	6		⑤関東地方 ⑥東北地方	・それぞれの都道府県の自然・文化・経済についてまとめることができる。
	7		⑦北海道地方	・それぞれの都道府県の自然・文化・経済についてまとめることができる。
2	9	〔歴史〕 第4章 近世の日本	② 江戸幕府の成立と鎖国 ③ 産業の発達と幕府政治の動き	・江戸時代の初期から中期にかけての政治・経済・文化を系統的に考え理解することができる。
	10	第5章 開国と近代日本の歩み	①欧米における近代化の進展 ②欧米の進出と日本の開国	・欧米諸国がなぜ世界に先駆けて発展したのか考えることができる。 ・江戸幕府末期のできごとを諸外国とのつながりを理解したうえで考えることができる。
	11		③ 明治維新 ④ 日清・日露戦争と近代産業	・明治政府の考えを理解したうえで歴史的現象を考えることができる。 ・産業の近代化がもたらした社会の矛盾を資料から考える。
	12	第6章 二度の世界大戦と日本	① 第一次大戦と日本	・産業の発達と植民地政策を世界大戦と関連付けて考える。
3	1		②大正デモクラシーの時代	・大正デモクラシーについて理解し、現代と比較しながら考察する。
	2		③世界恐慌と日本の中国侵略 ④第二次世界大戦と日本	・世界恐慌の原因について理解するとともに、各国の対応などの違いを考える。 ・日本の大陸進出、軍国主義化の経緯を、地図などを用いて具体的に理解する。 ・ヨーロッパで起こった戦争が世界へと拡大していく経緯を理解する。
	3		④第二次世界大戦と日本	・第二次世界大戦について、日本が取った行動について国際的視野で考察する。

教科名	学年	週時間数
数学	2	3

シラバス 2024

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	『未来へひろがる 数学2』 (啓林館)
副教材	リピート学習 (正進社) 積み上げ (明治図書)

指導の重点	学ぶ意欲 思考力 表現力 処理技能
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組み、数学に対する興味関心を持つ。 ・課題に対して、自分で考えたり、人の意見を取り入れて、解決に向けて取り組む。 ・基礎基本を確実に身につけ、それを利用して、課題が解決できる。 ・数学的な活動を通して、物事を多面的にとらえる力を身につける。 <p>【表現力の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象を数学的に表現し、処理をする。 ・途中の式や考え方、理由を説明する。 ・数学的な表現を用いて学び合う場面設定を積極的に導入し、相互に伸びることを目指す。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	各単元における基本的な数や式、ことばの意味などを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・自分なりに説明したり、自分なりの表現で答えたりすることも評価する。
観点② 思考・判断・表現	解法の手がかりを見つけたり、別な方法から考えたりする。 途中の式や考えを書き、答えを導き出す。【表現力】 具体的な事象を数学的に表現し、処理を行う。【表現力】	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・定期テスト ・結果だけでなく、途中の式や考え方も評価する。
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	提出物・準備物を忘れず、プリント等を整理し保管する。 授業態度 (座る姿勢、私語、取り組み) をきちんとする。 発表する。 ノートを丁寧にとり、途中の計算式も書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・授業観察 (発言・ノートへの記述など) ・提出物 (ワークブックなど)

授業の受け方	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中して取り組む。 ・提出物の期限を守る。 ・人の発表や発言はしっかりと聞く。 ・ノートは見やすく書く。 ・途中の式も書く。 ・グループ活動ではわからないところを互いに教え合う。 ・確実に理解するため、ワークブックや問題プリントでくり返し練習する。
--------	--

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	式の計算	式の加法, 減法 いろいろな多項式の計算 単項式の乗法, 除法	・文字式の計算ができる。
	5	連立方程式	文字式の利用	・文字式を活用して説明ができる。 ・等式の変形ができる。
	6		連立方程式とその解	・連立方程式とその解の意味を知る。
	7	一次関数	連立方程式の解き方 連立方程式の利用	・連立方程式を解くことができる。 ・文章題が連立方程式でも解けることがわかる。
2	9	一次関数	一次関数 一次関数の値の変化 一次関数のグラフ 一次関数の式を求めること	・1次関数が $y=ax+b$ の式で表せることがわかる。 ・1次関数の変化の割合が一定になることがわかる。 ・傾きと切片から1次関数のグラフをかくことができる。 ・グラフから傾きと切片を読みとり, 1次関数の式をつくることができる。
	10	方程式とグラフ 連立方程式とグラフ 一次関数の利用	・2元1次方程式の解や連立方程式と1次関数のグラフとの関係がわかる。 ・具体的な事象を1次関数とみなし, それを問題解決に利用することができる。	
	11	図形の調べ方	角と平行線 多角形の角 三角形の合同	・対頂角, 同位角, 錯角の性質が理解できる。 ・多角形の内角, 外角の和が理解できる。 ・三角形の合同条件を言うことができる。
	12	図形の性質と証明	証明とそのしくみ 証明の進め方	・証明の進め方が理解できる。
	12	二等辺三角形	二等辺三角形	・二等辺三角形の性質を知る。
3	1	直角三角形の合同 平行四辺形の性質 平行四辺形になるための条件	・直角三角形の合同条件を言うことができる。 ・平行四辺形の性質が理解できる。 ・平行四辺形になる条件が理解でき, 証明に利用することができる。	
	2	いろいろな四角形 平行線と面積 四角形の性質の利用	・長方形, ひし形, 正方形の特徴がわかる。 ・等積変形で面積が等しい三角形をさがすことができる。	
	3	場合の数と確率	確率の求め方 いろいろな確率 確率の利用	・確率の意味が理解できる。 ・数学的に確率を求めることができる。
		箱ひげ図と データの活用	箱ひげ図 データを活用して, 問題を解決しよう	・箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味が理解できる。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し, 箱ひげ図で表すことができる。
		一年間のまとめ		

教科名	学年	週時間数
理科	2	4

シラバス 2024

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	未来へひろがるサイエンス2 (啓林館)
副教材	理科の自主学習(新学社)、学習の達成(新学社)、最新理科便覧(浜島書店)

指導の重点	学びに向かう力・人間性 理科の見方・考え方 表現力
教科のねらい	自然の事物・現象に対する関心を高める。 目的意識を持った実験・観察等を行い、科学的に探究する能力と態度を育てる。 自然の事物・現象についての理解を深める。 科学的な見方や考え方を養う。 【表現力の指導】 話し合い活動や発表を通して、自他の意見や考えを深め、まとめる。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	授業で学習した内容を説明することができる。 重要な語句・文章をきちんと書くことができる。 実験・観察等、器具を正しく安全に扱うことができる。 レポートを分かりやすく丁寧に書きまとめることができる。	定期テストにおける知識・技能に関する得点 小テスト レポートの内容評価 実技テスト
観点② 思考・判断・表現	事物・現象についてすじみち立てて説明することができる。 科学的な理論に基づいて、計算で求めることができる。 自分の考えを人にわかりやすく伝えることができる。	定期テストにおける思考・判断・表現に関する得点 小テスト レポートの内容評価
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	授業に積極的に参加することができる。 ・学習課題に対して粘り強く取り組むことができる。 ・自らの学習を調整しようと取り組むことができる。 自分の学習をしっかりと振り返り、今後の学習に生かすことができる。	行動評価 レポートの記述 授業プリント 振り返りシート

授業の受け方	授業に積極的に参加しよう。 私語はせずに、指示や発表・発言をしっかりと聞き、自分の意見をしっかりと発表しよう。 実験・観察においては、器具の扱いや手順をしっかりと理解し安全に協力して参加しよう。 レポート・ワーク・プリント等の課題をきちんと仕上げ、期限を守って提出しよう。 自らの学習を振り返り、今後の学習に計画・修正・改善をして生かそう。
--------	--

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	【化学変化と原子・分子】 1章 物質の成り立ち	化学変化・化学反応 物質の分解 原子・分子 元素記号と化学式・化学反応式	・分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できるを見いだすことができる。 ・物質は原子や分子からできていることを理解する。物質を化学式、化学変化を化学反応式でそれぞれ表すことができる。
		2章 物質の表し方		
	5	3章 さまざまな化学変化	物質の化合 酸化と還元 化学変化と熱の出入り	・さまざまな化学変化の実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだすことができる。酸化と還元が同時に起きていることや、化学変化に伴う熱の出入りについても認識し、それらが日常生活にも多く利用されていることに気づく。
		4章 化学変化と物質の質量	化学変化の前後の物質全体の質量	・化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいこと、および反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだすことができる。
	6	【生物の体のつくりとはたらき】 1章 生物の体をつくるもの	細胞のつくり 細胞のはたらき	・生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見だし理解する。
		2章 植物の体のつくりとはたらき	植物の体のつくりとはたらき (光合成・呼吸・蒸散)	・植物の葉や茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果とを関連づけて理解する。
	9	3章 動物の体のつくりとはたらき	動物の体のつくりとはたらき (消化・吸収・呼吸・排出・血液の循環)	・消化や呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみや不要となった物質を排出するしくみがあることを理解する。 ・刺激と反射のしくみを理解する。
4章 動物の行動のしくみ		刺激と反応のしくみ		
2	10	【電流とその利用】 1章 電流の性質	回路 回路に流れる電流と加わる電圧 電圧と電流の関係 発熱量・電力量	・回路の基本的な性質や、電圧と電流の関係について規則性を見いだすことができる。
		2章 電流の正体	静電気・陰極線 放射線とその利用	・日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べ、静電気と電流には関係があることを見いだすことができる。また、真空放電の実験から、電流の正体について理解する。
	11	3章 電流と磁界	磁界 モーターのしくみ	・電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。
		発電機のしくみ(電磁誘導) 直流と交流	・発電のしくみを理解する。	
	12	【地球の大気と天気の変化】 1章 地球をとり巻く大気の様子	圧力・気圧 気象観測	・地表にあるものすべてに大気圧がはたらいていることを理解する。また、身のまわりの大気の状態を継続的に観測し、気象要素の変化と天気の変化の関係を見いだす。
3	1	2章 大気中の水の変化	霧や雲のでき方 飽和水蒸気量	・霧や雲のでき方を、空気中の水の変化と関連づけて理解する。
		3章 天気の変化と大気の動き	天気図・気圧配置 低気圧・高気圧、前線	・気圧配置によって、大気の動きが生じることを理解する。また、日本付近の高気圧や低気圧の移動と、それに伴う天気の変化を、地球規模の大気の動きの一部として捉えることができる。
	2	4章 大気の動きと日本の四季	日本の四季	・大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解する。さらに、日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解する。

教科名	学年	週時間数
音楽	2	1

シラバス 2024

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	中学生の音楽 2
副教材	「Joyful Songs」(新学社) 「音楽のハーモニー」(正進社)

指導の重点	「学ぶ意欲」「表現力」
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で扱う内容について、興味関心をもって取り組める。 ・大きな声で表現することができる。 ・曲想にあった表現ができる。 ・仲間とともに音楽を表現できる。 ・様々な音楽文化に関心を持ち鑑賞できる。 【表現力の指導】 <ul style="list-style-type: none"> ・歌うことを通して自分を表現する力をつける。 ・歌うことを通して音楽を表現する力をつける。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	・音楽表現をするために必要な基本的な知識・技能を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト ・授業観察
観点② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を楽譜から読み取り、音楽活動に生かすことができる。 ・音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト ・鑑賞の記録 ・授業観察
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動に親しみながら、自ら進んで、また友達と協力して音楽学習に取り組もうとしている。 ・楽曲を完成させるために粘り強く取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察(活動の様子) ・忘れ物・提出物・発表 ・実技テスト

授業の受け方	<ul style="list-style-type: none"> ・授業準備物を忘れないようにする。正しい服装で参加する。 ・話をよく聞き、授業に集中して参加する。 ・失敗や間違いを恐れずに素直な心で思いっきり表現する。
--------	---

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	オリエンテーション 発声練習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の約束事を再確認する ・腹筋・呼吸の仕方を学ぶ。 ・「夢の世界を」 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の話をしちんときける。 ・忘れ物をしない。 ・正しい服装で受けることができる。 ・歌唱に必要な発声法を学ぶ。
	5	鑑賞	「フーガ短調」	<ul style="list-style-type: none"> ・フーガのおもしろさを味わうことができる
	6	合唱	「翼をください」 「夏の日の贈り物」 実技テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成と音の重なり方を理解して表現を工夫する。 ・旋律の特徴を感じとって響きある声で歌うことができる。
	7	クラスの歌声をつくろう 歌唱	パート分け、パート練習のスタート 「夏の思い出」	<ul style="list-style-type: none"> ・パート練習に真面目に取り組むことができる。 ・情景を思い浮かべながら言葉を大切に歌うことができる。
2	9	合唱の喜び	合唱コンクール課題曲 合唱コンクール自由曲	<ul style="list-style-type: none"> ・パート練習に真面目に取り組むことができる。
	10	合唱の喜び	合唱コンクール課題曲 合唱コンクール自由曲	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を表現する楽しさを感じ取ることができる。
	11	合唱コンクールをふり返って 鑑賞 歌唱	実技テスト 「交響曲第5番ハ短調」 「荒城の月」	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テストで、自分らしく音楽を表現することができる。 ・日本の伝統芸能に親しみ音楽と舞台の関わり、声の出し方、和楽器の音色を味わうことができる。
	12	創作	「リズム」	<ul style="list-style-type: none"> ・拍を感じながらリズムを打つことができる。
3	1	鑑賞	「勸進帳」 「卒業式歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の仕組みに注目して名曲を楽しむことができる。 ・パート練習に真剣に取り組むことができる ・自分の2年間を振り返った合唱ができる。
	2	心を込めて歌おう	「卒業式歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・パート練習に真剣に取り組むことができる。 ・自分の2年間を振り返った合唱ができる。
	3	合唱	「メッセージ」	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解できる。

教科名	学年	週時間数
美術	2	1

シラバス 2024

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	「美術2・3」 光村図書
副教材	「新レタリング・ポスターの資料」 正進社 「美術資料」 秀学社

指導の重点	「感じ取ったことや考えたことを基にした表現」 「目的や機能などを考えた表現」 「作品や美術文化などの鑑賞」 「色彩学習」 共通項目
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を育てる。 ・対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身につけ、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 ・自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の表現や鑑賞の活動の中で働き、活用されるような造形的な視点を豊かにするために必要な知識を身につけることができる。 ・材料や用具の特徴を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができる。 ・材料や用具、表現方法の特徴などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すことができる。 	授業の様子、作品・アイデアスケッチ・ワークシート等の内容、制作態度全般、定期テスト
観点② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感性を生かし、アイデアを膨らませ、自分の思いを形にすることができる。 ・友人や作家のさまざまな作品を鑑賞し合い、良さをお互いに尊重し、自分の思いや考えを自分の言葉でまとめることができる。 	授業の様子、作品・アイデアスケッチ・ワークシート等の内容、制作態度全般、定期テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組むことができる。 ・自ら問いや課題を発見し、習得した知識や技能などを活用しながら、問題を解決しようとする考え方ができる。 	授業の様子、作品・アイデアスケッチ・ワークシート・感想文等の内容、制作態度全般、定期テスト

授業の受け方	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に意欲的、積極的に参加し、つくることの楽しさを実感できるようにしましょう。 ・チャイム着席、制作の準備・後片付けにしっかり取り組みましょう。 ・授業中は私語を慎み、自分のイメージをしっかり持って制作に励みましょう。 ・世界にたった一人しかいない自分の発想や作品のすばらしさに気づき、そこから芸術作品を尊重する気持ちを持ちましょう。 ・提出物は期日を守って必ず提出しましょう。
--------	--

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	オリエンテーション 色彩学習の取り組み方 鑑賞	美術の楽しみ、授業の形態、留意事項の説明。 色彩学習のファイルの使い方 作者の考えや、作品に対する思いを知り、作品に触れる。	授業を受ける姿勢、態度を身に付ける。 UDで色彩を学ぶ方法を知る。 作者の考えや作品に対する思いを理解することができる。
	5	季節感のある暮らし 色彩学習	四季折々の美しい地域の風情から特徴を探し地域の魅力 を表現する。慣用色名の良さを知り、デザインにいか ず。表現方法を工夫して制作する。 色を組み合わせる配色について学ぶ	四季折々の季節感を取り入れてきた日本の文化に興味を 持ち主題をもとに形や色、材料などの構想をねる。
	6	季節感のある暮らし 色彩学習	日本の文化について考える。 和菓子について知る。 和菓子のデザインを発想する。 日本の伝統色	四季折々の季節感を取り入れてきた日本の文化に興味を 持ち主題をもとに形や色、材料などの構想をしてモチ ーフの形や構造を理解し、デザインに沿った任意の色で色 付けができる。
	7	メッセージを伝える ビジュアルデザイン 本物を見よう (三重県立美術館)	多くの人にメッセージが伝わるようにポスターのアイテ アを考える。 三重県立美術館の作品を鑑賞してプレゼンテーションす る。	多くの人に訴えたいことが伝わるアイデア豊かなポス ターが描ける。 本物を鑑賞してその魅力を多くの人に発表できる。
2	9	レオナルドとその時代 遠近法を使う	レオナルドダヴィンチの「最後の晩餐を鑑賞し、作者の 表現の意図や工夫を感じ取る。	色や形が感情にもたらす効果や遠近法などルネッサンス の美術をとらえる。
	10	水墨画 郷土の伝統工芸品 (鈴鹿墨)	墨の濃淡やかすれにじみなどの効果を試してみたり技法 を活用し、墨と親しむ	水墨画の歴史を知る。 いくつもの技法の中から、テーマや描く対象に合った技 法を選び表現することができる。
	11	水墨画 篆刻	墨の表現の豊かさや余白の美しさを生かして、自分の個 性を引き出す。掛け軸を制作する。自分の名前の篆刻を 制作する。篆刻を捺印する。	四季や自然をテーマに単純化や省略を使うことができ る。 陰刻と陽刻の違いを知ることができる。
	12	鑑賞 海を越えて	作者の考えや、作品に対する思いや日本の美術が西洋に 与えた影響を知り、作品に触れる。	作者の考えや作品に対する思いを理解することができ る。
3	1	日本らしい表現を学ぼう	紙を素材にした、作品を鑑賞し体験する。伊勢型紙の歴 史や着物について学ぶ 西洋にあたえた影響をやこれか らの活用(ランプシェードやその他のデザイン)を知る。	素材の特性を知り、型地紙の良さを生かして制作ができ る。
	2	日本らしい表現を学ぼう 鑑賞 絵巻物と漫画	鳥獣人物戯画と火の鳥を鑑賞する	時代を越えた表現の共通点や違い日本の表現と西洋の表 現の違いを考えることができる。
	3	生徒作品の鑑賞	鑑賞シートを使って、鑑賞を行う。	他の作品を見て自分とは違う考えや表現を知り、良さを 感じることができる。

	学年	週時間数
保健体育	2	3

シラバス 2024

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	「中学保健体育」(学研)	
副教材	「図解中学体育」(暁教育図書)	「学習の達成」(新学社)

指導の重点	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	授業観察 学習カード 定期テスト 実技テスト
観点② 思考・判断・表現	運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	授業観察 学習カード 定期テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に自主的に取り組もうとしている。	授業観察 学習カード

授業の受け方	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間を守る。 ・先生の指示をしっかりと見て、聞いて理解する。 ・自分の力を精一杯発揮し、運動を楽しむ。 ・課題を解決するために仲間と協力して取り組む。 ・道具・施設を大切にする。ルールやマナーを守り、安全に活動する。 ・目標をもって、自主的に活動する。
--------	--

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	集団行動 体力テスト	集団行動 体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢、方向転換、集合、点呼を学校生活の場で活用する。 ・体力の測定方法や測定結果を知り、昨年度の記録を上回ろうとする。 ・全員参加種目のルールを理解し、実践しようとする。 ・仲間と協力し合って、体づくり運動を楽しもうとする。 ・空間に仲間と連携して走りこみ、マークをかわしてゴール前での攻防を展開できるようにする。 ・役割に応じたボール操作や連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにする。 ・空間に仲間と連携して走りこみ、マークをかわしてゴール前での攻防を展開できるようにする。 ・役割に応じたボール操作や連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにする。
	5	体育祭の練習 体づくり運動	体育祭の練習 体づくり運動	
	6	球技	ハンドボール バレーボール 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	
	7	球技	ハンドボール バレーボール	
2	9	球技 陸上競技	ソフトテニス マット運動	健康な生活と病気の予防②／傷害の防止 保健 <ul style="list-style-type: none"> ・基本技術を身につけ、狙った場所にボールを打ち返したりする。 ・自己記録の向上を目指し、練習や競技を行おうとする。 ・基本技術を身につけ、狙った場所にボールを打ち返したりする。 ・自己記録の向上を目指し、練習や競技を行おうとする。 ・自己記録の向上を目指し、練習や競技を行おうとする。 ・自己記録の向上を目指し、練習や競技を行おうとする。
	10	球技 陸上競技	ソフトテニス マット運動	
	11	陸上競技	長距離走 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	
	12	陸上競技	長距離走	
3	1	球技	卓球 走り高跳び	<ul style="list-style-type: none"> ・基本技術を身につけ、仲間と協力し、ゲームを楽しもうとする。 ・基本技術を身につけ、仲間と協力し、ゲームを楽しもうとする。 ・技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。
	2	球技	卓球 走り高跳び 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	
	3	器械運動	跳び箱	

教科名	学年	週時間数
技術	2	1

シラバス 2024

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	「明日を創造する 技術・家庭技術分野」教育図書
副教材	

指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・技術（Technology）を活用した問題解決に関する知識・技能、思考力・判断力・表現力 ・知識・技能、思考力・判断力・表現力を身につけるために主体的に試行錯誤する態度
教科のねらい	<p>下記の活動を通して、技術の見方・考え方をいかして、技術的に問題を解決するための知識、技能や思考力・判断力・表現力を身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術に関する原理や法則、基礎的な技術の仕組みを理解する ・生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定する ・解決策が最適なものとなるよう設計・計画し、製作・制作・育成を行う ・解決策の結果や解決過程を評価、改善する

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の原理や法則に関する内容の知識、技能 (例) エネルギーや生物育成に関する知識、加工技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、定期テスト、ワークシートなど ・技能テスト、製作物、製図など
観点② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解決するための設計・計画のための思考・判断・表現 (例) 問題を解決するための根拠をもった設計図 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、設計図、解決策の評価、レポート ・協同的な問題解決場面における対話的な活動の観察
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・試行錯誤しながら、問題解決に向けて考えようとする態度 ・問題解決に向けて、自己の考えの振り返りと改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能を身につけるため活動の観察 ・ワークシートや設計図、レポート等に関する試行錯誤

授業の受け方	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決に向けて、自分の考えをもつとともに、他の人の考えを尊重し、よりよい解決方法を考えましょう。 ・製作や制作については、安全に配慮しながら行うようにしましょう。また、服装については怪我の防止や破損を避けるためジャージが望ましいです。 ・コンピュータの利用については、情報収集や利用については情報モラルを守り、正しく使いましょう。
--------	---

2年	技術
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	・生物育成の技術	・生物育成の基本的な技術について学習する ・ミニトマトを題材として、栽培計画や管理技術について学習する	・生物育成の基本的な技術を知る ・作物の管理技術について知り、適切な管理技術を選択することができる
	5	・生物育成の技術	・ミニトマトを題材として、栽培計画や管理技術について学習する ・飼育や水産生物の栽培について学習する	・作物の管理技術について知り、適切な管理技術を選択することができる ・飼育や水産生物の栽培について学習する
	6	・生物育成の技術	・ミニトマトを題材として、栽培計画や管理技術について学習する	・作物の管理技術について知り、適切な管理技術を選択することができる
	7	・生物育成の技術	・ミニトマトを題材として、栽培計画や管理技術について学習する	・作物の管理技術について知り、適切な管理技術を選択することができる ・生物育成の技術について評価する
2	9	・エネルギー変換の技術	・エネルギー変換の基礎的な技術について学習する	・エネルギー変換の基礎的な技術を知る
	10	・エネルギー変換の技術	・エネルギー変換の技術を活用した製品の構想・設計を行う	・電源や負荷、スイッチ（センサ）の利用方法を考えながら問題を解決するための設計・製作ができる
	11	・エネルギー変換の技術	・電気回路の製作と実験を行う	・電気回路の製作と実験を通して、電気回路の仕組みや工夫について知る
	12	・エネルギー変換の技術	・電気回路の製作と実験を行う	・電気回路の製作と実験を通して、電気回路の仕組みや工夫について知る
3	1	・緊急地震速報を題材とした情報の技術	・情報の基礎的な技術を知る	・緊急地震速報の技術についてレビューしながら、情報の技術の基礎的な内容を知る
	2	・緊急地震速報を題材とした情報の技術	・情報の技術を活用した設計・プログラム制作を行う	・センサ、ネットワーク通信、アクチュエータを活用した問題解決方法を構想、設計し、プログラミングができる
	3	・緊急地震速報を題材とした情報の技術	・情報の技術を活用した設計・プログラム制作を行う	・センサ、ネットワーク通信、アクチュエータを活用した問題解決方法を構想、設計し、プログラミングができる

教科名	学年	週時間数
家庭	2	1

シラバス 2024

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する (教育図書)
副教材	新家庭科総合資料(正進社)

指導の重点	自分の身の回りの生活への関心、生活を豊かにするための工夫、生活にかかわる基本的な技能
教科のねらい	○衣食住などの生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技術を習得することにより、生活の自立を目指す。 ○自分の家庭を取り巻く社会や環境に関心を持ち、生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度を育成する。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	自分の身の回りの衣食住などの生活について理解し、基礎的・基本的な知識や技術を身に付けている。グループ活動では、仲間を思いやり、協力して作業を進めることができる。実習では、安全面に配慮しながら作業に取り組むことができる。	テスト 提出物 実習の様子(取り組み方) 作品(完成度)
観点② 思考・判断・表現	自分の身の回りの生活をよりよくするための工夫について考えている。作品に、自分らしさを表現できている。課題について調べた事柄を工夫してまとめている。	授業の様子(発言の内容) 提出物 作品(工夫・表現)
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	話をしっかりきき、自分なりの意見を持ち、発表ができる。授業プリントやワークシートなどを丁寧にまとめることができる。授業に必要な持ち物を忘れずに準備し、提出物の期限を守れている。グループ活動や実習では、仲間を思いやり、協力して作業を進めることができる。	授業の様子(発言・活動・態度) 実習の様子(取り組み方) 準備物 提出物 授業プリント

授業の受け方	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の日常生活に関心を持ち、課題を解決していくための手だてを考えよう。 ・授業や課題には集中して取り組み、実習では安全面に配慮して取り組もう。 ・学んだことは、必ず自分の生活に役立てていこう。 ・持ち物などの忘れ物をしないようにしよう。 ・提出物は期限を守ろう。
--------	--

2年	家庭
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	幼児の生活と家族	幼児の体の発達を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の体の発達の特徴を理解する。 ・ 幼児の運動機能の発達を理解する。
	5	幼児の生活と家族	幼児の心の発達を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の言葉や情緒、社会性、もののとらえ方の発達の特徴を理解する。
	6	幼児の生活と家族	幼児の生活習慣の身につけ方を知ろう 幼児の生活の特徴を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児が生活習慣を身につけるには、まわりの大人の支えが必要であることを理解する。 ・ 幼児の1日の生活の特徴を理解する。
	7	幼児の生活と家族	幼児の遊びと発達のかかわりを知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児にとっての遊びの意義を理解する。 ・ 幼児の心身の発達と遊びには深いかかわりがあることを理解する。
2	9	幼児の生活と家族	幼児の発達を支える大人の役割を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の発達を支える家族の役割を理解する。 ・ 幼児の発達を支える地域の役割を理解する。
	10	幼児の生活と家族	幼児と触れ合ってみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児との関わり方を理解する。 ・ 幼児を観察したり、実際に触れ合ったりすることを通して、幼児についての理解を深める。
	11	家族・家庭や地域とのかかわり	家族の一員としてできることを考えよう 家族環境をよりよくする方法を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族・家庭の基本的な働きを理解する。 ・ 自分にできる家庭の仕事を見つけ、実践することができる。 ・ 家族には、それぞれの立場や役割があることを理解する。 ・ 家族関係をよりよくするための方法を考えることができる。
	12	家族・家庭や地域とのかかわり	家庭生活と地域のかかわりを知ろう 地域の役割を理解する人々と協力・協働しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭生活は地域とのかかわりで成り立っていることを理解する。 ・ 地域の人と協働する必要があることを理解する。 ・ 高齢者の一般的な身体の特徴を理解する。 ・ 地域の人とかかわるときのマナーや注意点を理解する。
3	1	生活を豊かにする製作	布を使ってつくってみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製作に必要な材料や道具を安全で効率的に使うことができる。 ・ 生活を豊かにするものを考え、製作の計画を立てることができる。
	2	生活を豊かにする製作	布を使ってつくってみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製作に必要な材料や道具を安全で効率的に使うことができる。 ・ 生活を豊かにするものを考え、製作の計画を立てることができる。
	3	生活を豊かにする製作	布を使ってつくってみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製作に必要な材料や道具を安全で効率的に使うことができる。 ・ 生活を豊かにするものを考え、製作の計画を立てることができる。

教科名	学年	週時間数
英語	2	4

シラバス 2024

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	NEW HORIZON English Course 2 (東京書籍)
副教材	JOYFUL WORKBOOK 2 (新学社) 学習の達成 (新学社) Benjamin (正進社)

指導の重点	学ぶ意欲 表現力 言語活動
教科のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。【聞くこと】 2. 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。【読むこと】 3. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。【話すこと(やり取り)】 4. 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。【話すこと(発表)】 5. 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。【書くこと】

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	授業内での言語活動 テーマの説明に使用される語句や文法事項及び英語表現	定期テスト 授業観察 パフォーマンステスト インタビューテスト ワークシートやノート
観点② 思考・判断・表現	授業内での言語活動 テーマの説明に使用される語句や文法事項及び英語表現	定期テスト 授業観察 パフォーマンステスト インタビューテスト ワークシートやノート
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	授業内での言語活動 テーマの説明に使用される語句や文法事項及び英語表現 テーマを説明するパフォーマンス	授業観察 パフォーマンステスト インタビューテスト 振り返りシート

授業の受け方	<ul style="list-style-type: none"> ・指示や説明、発表をしっかりと聞く。 ・間違いを恐れず、積極的に英語を使ってコミュニケーションを取ろうとする。 ・ペアやグループで協力し、学びあう雰囲気をつくる。 ・わからないところや気になるところがあれば、先生や友だちに質問して解決する。 ・自分が取り組んだことを振り返り、学びにつなげるようにする。 ・その日学習したことを、家庭で副教材等を使って復習する。
--------	---

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	Unit 0 Unit 1	<ul style="list-style-type: none"> be動詞の過去形 過去進行形 There is 構文 be going to +動詞の原形 	<ul style="list-style-type: none"> 思い出を伝えるために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。
	5	Unit 1 Let's Talk 1 Grammar for Communication 1 Learning HOME ECONOMICS in English Let's listen 1	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞 will show, give, buy, teachなど+人+物 call +A+B 5つの文構造 	<ul style="list-style-type: none"> 休暇や週末の予定について、たずねたり伝えたりすることができる。 場面に応じて、苦情を言ったり、それに対して謝ったりすることができる。 機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。
	6	Unit 2 Let's Talk 2 Grammar for Communication 2 Let's listen 2	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞when 接続詞if 接続詞that 接続詞because 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな食べ物やその理由について、紹介文を書くことができる。 場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。 インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。
	7	Unit 3 Ley's Write 1 Grammar for Communication 3 Learning TECHNOLOGY in English Stage Activity 1	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞 (副詞的用法) 不定詞 (原因を表す副詞的用法) 不定詞 (形容詞的用法) It is ... + to + 動詞の原形 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が体験したことや学んだことなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。 留守番電話のメッセージを聞いて内容を理解し、相手に返信メールを書くことができる。 好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書くことができる。
	9	Let's Read 1 Let's listen 3 Unit 4 Let's Write 2 Grammar for Communication 4	<ul style="list-style-type: none"> have to + 動詞の原形 助動詞must 動名詞 (目的語, 主語) 	<ul style="list-style-type: none"> 説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。 天気予報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。 お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。
	10	Let's listen 4 Unit 5 Let's Talk 3 Let's Listen 5	<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞 + to + 動詞の原形 主語 + 動詞 + 人 + 疑問詞 + to + 動詞の原形 主語 + be動詞 + 形容詞 + that 	<ul style="list-style-type: none"> 運行情報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。 乗り物での行き方をたずねたり、答えたりすることができる。 留守番電話を聞き、主な内容を理解することができる。
	11	Unit 6 Let's Talk 4 Grammar for Communication 5	<ul style="list-style-type: none"> 比較級・最上級 (-er, the -est) 比較級・最上級 (-more, the most) 比較級・最上級 (-better, the best) 同等比較 (as~as) 	<ul style="list-style-type: none"> 身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。 自分の好みや要望を伝えながら買い物をするができる。
12	Stage Activity 2 Let's Read 2 Let's listen 6		<ul style="list-style-type: none"> クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表することができる。 物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。 商品のコマーシャルを聞き、商品の長を聞き取ることができる。 	
3	1	Unit 7 Let's Talk 5 Grammar for Communication 6 Let's listen 7	<ul style="list-style-type: none"> 受け身 (現在形) の平叙文・疑問文とその応答 行為者をbyで明示する受け身の文 助動詞つきの受け身の文 	<ul style="list-style-type: none"> 各地の世界遺産を紹介することができる。 自分の好みや要望を伝えながら電話で用件を伝えることができる。 店内のアナウンスを聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。
	2	Stage Activity 3 Let's Read 3		<ul style="list-style-type: none"> 自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴やよい点を伝えることができる。 人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。
	3	Optional reading 1 Optional reading 2 名作鑑賞		<ul style="list-style-type: none"> 説明文を読むことができる。 日常生活で用いる英文 (メール, お店の紹介文, 広告等) を読むことができる。

教科名	学年	週時間数
道徳	2	1

シラバス 2023

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	中学道徳あすを生きる1（日本文教出版）
副教材	

指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい生活習慣を身につけるとともに、集団行動のルールを守り、責任のある行動ができる。 ・自他の生命を大切にする態度を養う。 ・学習や体験を通して気づいた様々な人権問題について考えることができる。
教科のねらい	人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

	評価場面 評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ・数値による評価ではなく、記述式とする。 ・個々の内容項目ごとではなく、大きくりなまとまりを踏まえたものとする。 ・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価とする。 ・道徳科の学習活動における生徒の具体的な取り組み状況を一定のまとまりの中で見取ること。 ・学習活動において生徒がより多面的多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身とのかかわりの中で深めているかといった点を重視する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察（発表、態度等） ・グループ活動（発表、態度等） ・ワークシート

授業の受け方	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の想いをワークシートに書けるようにする。 ・人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の考えをはっきりと言えるようにする。 ・話し合いを通して、自分の想いや考えを深め、それをまとめることができる。
--------	--

学習年間計画

通算(回)	月	内容項目	資料・教材名	ねらい
1	4	D-(22) よりよく生きる喜び	自分の弱さと戦え	自らの弱さを自覚し、それを克服しようとする強さをもち、人間として気高く生きようとする態度を育む。
2		C-(13) 勤労	おばちゃんのかれた“おまじない”	自分の仕事に誇りをもち、働く喜びを得ることが充実した生き方につながることを理解し、主体的に将来の生き方を考えようとする意欲を育てる。
3		B-(7) 礼儀	挨拶は言葉のスキンシップ	心と形が一つになった礼儀や作法の意義に気付く、相手を尊重する心を込めて、形に表していこうとする態度を養う。
4	5	D-(19) 生命の尊さ	最後のパートナー	命がかけがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重する心を育て、周りの人と支え合って生きること感謝する心情を養う。
5		A-(1) 自主、自律、自由と責任	五月の風ーカー	自主的に考え、判断し、誠実に実行していこうとする判断力を育成する。
6		B-(8) 友情、信頼	五月の風ーミカー	互いに励まし合い、高め合う本当の友達をつくろうとする態度を育てる。
7		B-(8) 友情、信頼	体育祭リレーメッセージ	体育祭のクラス全員リレーにおいて、互いの気持ちや意気込みを共有することを通して、他への思いやりの心や相互に協力し合おうとする実践意欲を育てる。
8		B-(6) 思いやり、感謝	名乗り出なかった友	相手の立場を尊重したさりげない親切やいたわりの行動が多様な感謝を生むことを理解し、潤いのある温かな人間関係を築こうとする態度を育てる。
9	6	A-(5) 真理の探究、創造	戦争取材する	真理や真実を求め、理想の実現を目指して、よりよく生きようとする態度を育てる。
10		C-(18) 国際理解、国際貢献	海と空ー桜野の人々	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする態度を育てる。
11		D-(22) よりよく生きる喜び	子どもの権利条約	すべての子どもには自分らしく生きる権利があるということを知り、それらが侵されることのないよう、積極的に行動しようとする態度を育てる。
12	7	C-(11) 公正、公平、社会正義	人権作文	身近な人権問題について考え、問題に対する自分の考えを表現することをおして、すべての人間が安心して自分らしく生きることができるとする社会を実現しようとする態度を育てる。
13		C-(10) 遵法精神、公德心	美しい鳥取砂丘	互いに住みよい社会を目指す精神の大切さを理解し、調和と規律を保つための法やきまりを進んで守ろうとする態度を育てる。
14	9	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	和樹の夏祭り	郷土の伝統と文化を大切にし、地域社会の一員としての自覚をもって、進んで郷土の発展に努めようとする実践意欲や態度を育てる。
15		C-(11) 公正、公平、社会正義	ヨシト	偏見を正し正義を貫こうと決意する主人公の姿に共感することをおして、正義を重んじ、偏見や差別をなくしていこうとする態度を育てる。
16		A-(1) 自主、自律、自由と責任	ネット将棋	誠実に行動することの大切さを理解し、自主的に行動しその結果に責任をもとうとする態度を育てる。
17		D-(21) 感動、畏敬の念	樹齢七千年の杉	自然の美しさや神秘さ、偉大さを感じ、人間の力を遥かに超えたものに対する畏敬の念を深め、豊かな心を育てる。
18	10	A-(3) 向上心、個性の伸長	「自分」ってなんだろう	人それぞれ必ずその人固有のよさがあり、その発見と自己受容・自己理解に努め、自分らしさを発揮できる生き方を求める。
19		C-(13) 勤労	小さな工場の大きな仕事	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労をとおして社会に貢献しようとする態度を養う。
20		C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	人権フォーラム	身近な人権問題について考えることをとおして、すべての生徒が安心して自分らしく過ごすことができる学校生活を実現しようとする態度を育てる。
21	11	D-(19) 生命の尊さ	体験ナースをとおして	かけがえのない命を与えられていることに気付いて感謝し、自他の生命を尊重しようとする実践意欲を培う。
22		C-(12) 社会参画、公共の精神	行動する建築家 坂 茂	社会参画の意識を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現のために貢献しようとする態度を育む。
23		C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	さよなら、ホストファミリー	国際社会に生きる日本人としての自覚をもち、我が国を愛する心情を育てる。
24		B-(6) 思いやり、感謝	夜のくだもの屋	人間は多くの人々の善意や思いやりによって支えられ、守られていることに気付く、感謝する態度を育てる。
25		A-(4) 希望と勇氣、克己と強い意志	初心	目標や希望をもって生活することの大切さや意義を理解し、その達成を目指し、困難などがあっても強い意志でやり遂げようとする態度を育てる。
26	12	C-(10) 遵法精神、公德心	オーストリアのマス川	きまりは幸福な社会を実現するためにあるということ認識し、それを遵守しようとする判断力を育む。
27		D-(20) 自然愛護	よみがえれ、えりもの森	人間は自然界のつながりの中で多くの恩恵を受けており、その有り難さに感謝するとともに、自然を守り行動しようとする態度を育む。
28		C-(18) 国際理解、国際貢献	ダショー・ニシオカ	それぞれの国の伝統と文化に各国民が誇りをもっていることを理解し、その上で日本人として国際協力を積極的に行動しようとする態度を培う。
29	2	B-(9) 相互理解、寛容	コトコの涙	人にはさまざまな考え方があることを理解し、自分の考えを伝えつつ、わかり合い、他に学ぼうとする謙虚な態度を育てる。
30		B-(8) 友情、信頼	卒業メッセージ	卒業生にメッセージを伝えることを通して、先輩に対する感謝の心や、伝統・文化を大切に受け継いでいこうとする態度を育てる。
31		C-(12) 社会参画、公共の精神	門掃き	「門掃き」をとおして、社会連帯にある相互扶助や思いやりの心を知ることにより、よりよい社会を生み出す主体者として行動しようとする実践意欲を養う。
32		A-(2) 節度、節制	避難所にて	節度ある生活や節制に心掛けるために、周りの人の生活を見つめることで自分の生活を見直し、思慮深く内省しようとする態度を養う。
33	3	D-(19) 生命の尊さ	命を見つめてー猿渡瞳さんの六百四十六日ー	限りある生命を懸命に生きることの大切さを理解し、互いに支え合って生きようとする心情を養う。
34		C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	包む	我が国の優れた伝統と文化についての理解を深め、そこに込められた「日本人の心」に気付く、大切にしようとする心情を育てる。
35		C-(14) 家族愛、家庭生活の充実	きいちゃん	自分も家族にとってかけがえのない存在であることに気付く、家族の一員としての役割を果たそうとする心情を育てる。